

原子力・放射線部会 令和5年度（2023年度）全体会議

2022年度活動報告

2023年6月23日

活動全般

前年度に続きコロナ禍により活動を制限せざるを得ない状況となったが、当部会ではかねてから計画していたWebによる活動をさらに推進するために機材を整備するとともに、Webを活用したCPD企画を推進。

技術士会の方針と対応状況

1. 会議開催について

- (1) メールを利用した審議等を基本
- (2) 協議等の必要がある会議は、WEB会議システムの利用を原則
- (3) 地域メンバーは、WEB会議システムの利用を原則

2. 講演会・見学会について

- (1) 講演会は、WEB配信を推奨しているものと思われる。
- (2) CPD実施に応えるために、主催者等少人数のもとで、三密を避けて講演内容のWEB収録を行い、後日HPに掲載を積極的に検討
- (3) 当分の間、見学会は開催延期を推奨しているものと思われる。

3. 各種助成制度・運用等について

- (1) WEB配信奨励金制度（企画委員会）継続は、未確定な模様。
- (2) 技術士CPD登録の臨時運用（研修委員会）は、主旨継承。

4. その他（技術士会HPの記載）

新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」の適用に伴う本会事務局の対応は、・・・東京都よりテレワークの活用を推進するなどして出勤者数を減らすよう要請を受けていること等から、本会はテレワーク等を推進しております。
https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008536.html

2022年度の基本活動方針

1. 進化した配信システムによるWeb例会講演会の開催
 - a. 当面は情報セキュリティ上、機微なテーマは避ける
 - b. 同時に配信のマニュアル化・普遍化（当番制）を推進
2. 同・Web見学会（含・予行演習：6/1）の開催
 - a. 2020年度に部会内WGで検討に着手し、2021年度の継続中
 - b. COVID-19まん延防止対策等で延期を繰り返したが、近日中に予行演習（ロケハン）を実施し、9月までにWeb見学会を開催予定
3. 対外説明は、相手側事情に整合して活動
 - a. 大学説明会は、min. 実績校に既存パンフレット等を郵送。WEB説明会が開催されれば出来るだけ参加。
 - b. 学会ブース出展は、WEB出展で実施予定。
 - c. 組織啓発活動は、COVID-19状況見合いで実施したい。
4. 部会報の執筆・月刊技術士への投稿
 - a. 部会報は、2022年5月に出版
 - b. 月刊技術士に鋭意、投稿中（7月号に福島第一原発事故10周年企画）
5. 上記の環境整備・開催等に向けた準備や要領は、WEB役員会で議論する

2022年度 原子力・放射線部会の年間計画と実績

No	項目	回数	記事
1	新技術士講習会	1回	4月28日に開催
2	全体会議	1回	6月17日にWeb開催
3	技術士の夕べ (例会)	6回	WEB例会講演会を6回開催
4	見学会	1回	10月にWEB見学会を開催
5	部会報	1回	体制,運営方針,新幹事を紹介
6	春の学会展示	1回	3月に東大駒場にてリアル出展



技術士説明 (大学: web開催も含め計画どおり実施)

春の学会:リアル出展▲

▲新技術士講習会 (4/28)

▲WEB例会講演会①

▲web見学会

▲WEB例会講演会②

▲WEB例会講演会③

▲WEB例会講演会④

▲WEB例会講演会⑤

部会報▲

WEB例会講演会⑥ ▲

2022年度 CPD行事実績

1) Web例会講演会

テーマ	実施時期
第78回「ハイパーカミオカンデで探る素粒子と宇宙」、講師：平出 克樹氏（東京大学宇宙線研究所 特任准教授）	2022年4月28日(木) 18時～20時
第79回「福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出に関する計画について」、講師：松本 純一氏（東電）	2022年6月17日(金) 18時～20時
第80回「福島第一周辺の放射線の状況」 講師：鳥居 建男氏（福島大、元JAEA）	2022年8月26日(金) 18時～20時
第82回「原子力発電所の廃止措置から発生する放射性廃棄物の処理処分について」 講師：平井 輝幸氏（エネ総研）	2022年10月21日(金) 18時～20時
第83回「福島第一原子力発電所 廃炉研究開発の現状」 講師：奥住 直明氏 国際廃炉研究開発機構(IRID)	2022年12月16日(金) 18時～20時
第84回「原子力はどこへ向かうのか ～時代の転換期の中で考える」 講師：滝 順一 氏（日本経済新聞社）	2023年2月10日(金) 18時～20時

2) 見学会

テーマ	実施時期
第81回 WEB見学会（JAEA櫛葉遠隔技術センター）	10月5日、12日にLive配信実施

技術士の認知度向上と会員増に資する活動

No	項目	内容概要
1	大学生・大学院生への技術士制度の説明 (大学説明)	多くの若者にその意義を理解して頂き、技術士に興味を持ってもらうことを目的に、2016年4月より、原子力関連の学部、学科、大学院の学生を主な対象として、技術士制度説明会を実施している。
2	原子力学会での技術士制度の説明 (学会説明)	原子力学会 春の年会へ展示ブースを出展し、学会に参加する原子力分野・放射線分野の社会人・学生を対象に、技術士制度について双方向性のある説明をする。 ⇒ 東大駒場で開催の学会に3年ぶりにリアル出展
3	対象組織への企業啓蒙活動の説明 (企業説明)	原子力分野は、職に就いた後に尊敬する先輩の技術士の背中を見て、背中を押されて受験する傾向がある。 依頼により設置する組織特命大使を介して組織・個人に向けて説明会等の種々の活動を行う。 ⇒ コロナ禍によりHOLD

大学説明（2022年度）

No.	大学名	パンフレット配布	形式
1	京都大学	パンフ（部会、本部） 25部、ポスター（PDF）	大学側から、新M1（対面）ガイダンスにおいて資料配布いただいた。
2	福井大学	パンフ（部会、本部） 25部	新M1（対面）オリエンテーション学生16名、同席教職員15名が出席。
3	九州大学	パンフ（部会、本部） 50部	技術士制度と試験の概要について説明。 M1及びD1計35名が出席。
4	茨城大学	部会パンフと標準説明 資料を電子データ配布	オンライン形式の大学院生へのガイダンス の中で説明。
5	東京工業大学	会員作成の要約資料、 部会パンフ	オンライン形式の大学院生（修士）向けの オリエンテーションの中で説明。40名出席。
6	東京都市大学	パンフ（部会、本部） 40部、ポスター（PDF）	「技術者倫理」の講義（対面）で技術士制 度を説明。学部2年生36名出席。

【総括】

- ・ オンラインによる説明や資料配布のみとする等、大学により方法が慣例化し、また説明者が固定化されてきている。
- ・ 限られた時間での説明で、技術士資格や試験制度を説明する時間も十分ではないことが多い。部会作成のパンフレットや標準資料は「配布のみ」
- ・ 説明者は限られた時間で効率よく説明するために、オリジナルの技術士資格や試験制度資料を用意されて説明を実施されている。

原子力学会 春の年会：3年ぶりにリアル出展

【概要】

1. 展示期間
 - 3月12日（日）13：00-15：00 展示準備
 - 3月13日（月）10：00-17：00 展示会
 - 3月14日（火） 9：30-17：00 展示会
 - 3月15日（水） 9：30-15：00 展示会（16：00までに展示搬出）
2. 会場；東京大学駒場キャンパス
3. 展示ブースサイズ 幅 約1800mm、奥行き 約650mm)

部会MLを通じて説明員を募集しました

- ・芳名録記入者；48名（学生の方など）
- ・名刺；24名（関係役員の方を含みます）



まとめ

1. 当部会では、(1)原子力安全に係る活動推進, (2)認知度向上と技術士数増の活動, (3)地域連携の促進と個の部会員が発案する技術士活動の支援, (4)外部機関を活用した広報活動、等を推進している。
2. 認知度向上と技術士数増のために、①大学生・大学院生への技術士制度の説明、②原子力学会での技術士制度の紹介を推進中。
3. 部会員の技術士活動の支援として、a) 例会講演会・見学会を企画し、b) 地域連携の促進のためにweb接続できる遠隔同時視聴会場の整備。